

－新春特別対談－

高岡の福祉を前へ



もくじ

- ・高岡市長×高岡市社会福祉協議会長対談
- ・わがまち福祉
- ・第16回高岡市社会福祉大会
- ・ボランティア情報
- ・高岡市社協Instagram・Twitter始めました
- ・「#たかおか社協だより66」

4月号表紙写真SNS投稿キャンペーン

◎特集 わがまち福祉

○守山地区

「シトラスリボンプロジェクト事業」



この広報紙は一部共同募金の助成を受け発行しています。



高岡市長
角田 悠紀

高岡市社協会長
尾崎 憲子

高岡市社会福祉協議会（以下、市社協）では、「みんなで支え合い、みんなが『あっかり』して生活できる地域共生社会」を目指しています。

今回は、角田市長と尾崎会長から「高岡の福祉を前へ」推し進めるための今後のビジョンについて対談いただきました。

地域が求めるマンパワー

角田市長（以下、敬称略）：今日、少子高齢化・人口減少と言われる中、“地域のマンパワー不足”が課題となっており、この課題解決に向けて高岡市に適した地域づくりを提案していくことが、行政の仕事だと考えています。地域活動に関わる人を増やすためには、例えば、役割を世代で時間ごとに分担するなど、やり方を大きく変えることが必要だと思っているんです。

尾崎会長（以下、敬称略）：そうですね。今は、ライフステージが少し変わってきていて、60代でも元気に仕事を続けている人が多くいらっしゃいます。70代で仕事を辞めて急に地域の活動に関わろうとしてもなかなか難しい。働いている間から少しずつでも地域に関わっていける方法を提案していけたらいいですね。また、地域の皆さんからお話を伺うと、親と子が別々に生活している世帯が多く、家族で助け合う力が弱くなっていると感じます。だからこそ、地域の皆で支え合うことが重要だと思うんですよ。

角田：私が議員時代に地域で一番はじめに求められたことも、“マンパワー”でした。このニーズに答えるためには、いかに多くの人たちに地域の活動に参加してもらえる仕掛けができるかであり、現在、セカンドライフの支援施策を考えているんです。セカンドライフというと、余暇を楽しむイメージですが、「今まで働き続けてこられたのは、地域のおかげ、これからは地域に貢献したい。」という気持ちを持っていられるように「地域づくり」に参加するプロセス、いわゆる地域貢献への仕掛けづくりをしたいと思います。

また、きっかけがないだけで、何かしたいと思っている人はたくさんいるはずです。特に、今の若い人は、自分から“何かやりましょうか？”という世代で

はないと感じていて、「地域は若い人たちの力を求めています。」とこちらからお願いすることも必要ではないでしょうか。若者世代にも、もう一步前へ進んでもらい地域のマンパワーになってもらえたたらと思います。

地域のキーパーソンづくり

尾崎：地域で活動していると、金銭的な問題や孤立、ひきこもりといった様々な相談をいただきます。外に出たいけれどきっかけがない、新型コロナの影響で思うように外出できず孤立している人たちがいます。そういう人たちに地域に出てきてもらうためには、おせっかいなおじさん、おばさんみたいな人がたくさん必要だと思います。何か困りごとがあったときに手を差し伸べ、必要な情報を伝えてあげる、そういう人が地域のキーパーソンになるはずです。

角田：来年度からモデル的に「地域担当職員制度」を導入し、地域支援について取り組んでいきます。地域の課題解決を目指し、まずは市職員が地域のキーパーソンの方々とつながり、一緒に活動することが大きな役割です。私は、地域が隣接していても、それぞれ課題は違うので一律の行政施策では当たはまらないと思っていて、どこでどんな事に困っているのか、地域の声を集めていきたいと考えています。そうすることで、職員も育ち、地域自体も変わり始め、今までなかつた動きが出てくると思うんです。

尾崎：地域にはそれぞれの分野で強みのあるキーパーソンがたくさんいるので、そういう人たちと市役所がパートナーになれたら絶対に地域は変わります。「市役所の人が来て、いっぱい話を聞いてくれた。」とか、そういうことが非常に大切なことであり、市役所

への期待につながると私も思います。

市社協も、ぜひ一緒に活動させてください。これまでも地域担当を決めていましたが、市役所の地域担当職員と一緒に活動することで、よりよい福祉のまちづくりの方向に向かっていくと思います。

福祉とは覚悟である

角田：私自身、「福祉は覚悟である」といつも言っています。福祉を考える上で、関係する全てのセクションがひとつになり、地域福祉を取り巻く課題に取り組んでいかない限り、現状を打破できないと思っているんです。

これから少子高齢化による人口減少に向き合っていくためには、絶対“覚悟”が必要だと思っています。

尾崎：市社協も“覚悟”を持って一緒にやっていきたいと思います。地域に出てアクションを起こす。地域の担当として、足しげく地域に出かけ、声をかけていけば、地域は必ず良くなるはずです。

また、地域の人は、何か困ったときには市役所や市社協に相談に来られます。ワンストップで解決できることを目指していますが、状況によっては他の相談場所につなげることがあります。そのときに、次の相談場所を教えたから終わりではよくないと思っています。一度関わった相談は最後まで見届ける。市役所も市社協もこういう“覚悟”を持って頑張っていきたいと思います。

地域に交流の拠点を

尾崎：私の住む地域では、福祉教育の一環として小学校の5・6年生がジュニア福祉活動員となり、地域の高齢者を訪ねる活動をしています。それは、特別なことではなく、小学生が「おばあちゃん元気？」と顔を見てくる、それだけなんです。私は、高岡の福祉を前へ進めるためには、何より子どもの頃からの福祉教育が大切だと思っています。

角田：子どもの頃から地域の福祉に関わるというのは、素晴らしいですね。

私は、公民館の役割をもう少し変えていきたいと思っているんですよ。公民館の利用者の多くは高齢者

で、若い人が公民館を使うのはお祭りのときぐらいではないでしょうか？若い世代は、日中は仕事をされていますが、その子どもたちにもっと公民館を使って欲しいと思っているんです。行事などで子どもたちが集まると、いつも公民館が活気にあふれるんです。



最近、学童保育の場所が少ないとと言われますが、昔は公民館がそういう場所でした。公民館の弾力的な活用を進め、子どもたちが集い遊べる場にする。「子どもたちがいるから私も」と高齢者も公民館へ行くといった相乗効果を生み出せないかなと考えています。

高齢者と子どもたちが触れ合う場が自然に生まれ、公民館が交流サロンやコミュニティサロンのような地域の多世代が交流できる場所になっていくと思っています。

そうやって、そこで遊んだ子どもたちが大人になったとき、地域の公民館を大切してくれる大人に育っていく。長い年月をかけた話ですが、公民館というものの価値を、今一度子どもたちに知ってもらいたいと思うんです。

尾崎：とても良い提案ですね。日頃から、地域には

「拠点」が必要だと思っていました。校区社協では、会長宅が事務局になっている地域があるので、公民館に事務局を置いてみんなが集まるようにして欲しい。人が集まり学べる公民館に福祉の拠点があることも大切だと思いました。

角田：今のルールでは、市立公民館でやりづらいことが多くあるので、これを変えていくことで、利用しやすい公民館が生まれるはずです。今、公民館と同じような機能がある施設は、一地域一拠点という考え方で集約を進めていますが、今の公民館のルールを見直さない限り集約後の活用は難しいと思っています。

尾崎：地域の人がどこへ相談に行こうかと迷ったときに、身近な公民館の中にとりあえず受け止めてくれる場所があればいいですね。

角田：私が地域のコミュニケーション拠点として公民館に期待したいのは、「近所で、日中困り事がある人の話を聴いてあげてほしい」ということです。「その相談は〇〇へ」と役割分担もしっかりしながら、公民館の機能が向上すれば、福祉や地域住民による助け合い活動にも広がっていくと思います。

尾崎：ぜひ頑張ってください。実現できれば、高岡は変わったと市民の皆さんのが実感されるのではないかでしょうか。



四輪駆動で高岡の福祉を前へ

角田：地域福祉に関して、「市役所」と「市社協」は両輪とよく言われますが、両輪ではなく、これからは、四輪で進むことが必要だと思います。この四輪に加わるのは、「地域住民」と「民間事業者」です。この4つがしっかりと四輪駆動で動き始めることができれば、高岡の福祉が前へ進み始めるはずです。

行政にも市社協にもできることには限界があります。地域住民も民間事業者もそれぞれに限界がある中で、力を出し合えば、必ず高岡の福祉はもっと前に進むと考えています。行政においては、地域の課題を丸ごと受け止められる体制を作らないといけないと思っています。

四輪全てが同じ方向、同じビジョンを見ながら進むことで、地域を良くしようとする“覚悟”を持った四輪駆動として福祉が前へ進んでいくと思っています。

尾崎：ぜひ、民間の力を取り入れていってほしいです。あわせて地域の声を聞くために、民生委員や福祉活動員の方たちからも意見を吸い上げていただきたいです。こういう方たちが地域住民の代弁者ですから。

角田：そういう方々の意見を若い職員が地域で聞くことは、大事なことです。課題を解決するという大きなゴールを目指す過程で、小さいゴールを積み重ねていく。そのひとつひとつの過程を大切にして、高岡の福祉を前へ進めていきたいと思います。



わがまちふくし 守山地区「シトラスリボンプロジェクト事業」 ～コロナ禍で生まれた偏見をなくそう～



「シトラスリボンプロジェクト」は、コロナ禍で生まれた偏見や差別をなくし、誰もが地域のなかで笑顔のある暮らしを取り戻せる社会にしようと愛媛県の有志グループが始められました。守山公民館では、地域の皆さんとともにこのプロジェクトに賛同し、活動に参加しています。

守山地区社会福祉協議会もこの事業を発信、広げることに協力したいと、啓発活動用のリボン作り講習会を5月に3回実施し、「コロナ禍で生まれた偏見をなくそう」という思いをリボンにこめて結びました。

このリボンは6月2日、守山公民館運営協議会の早川会長・谷副会長ら役員から高岡市長に届けたほか、守山地区の医療機関、学校や各種団体などへも配布し、活動を広げています。また、市内、県外の公民館や各種団体などと情報交換会（リモート会議）も行っています。

プロジェクトチームは福祉活動員を中心に活動しており、今後もリボン作り会や交流会を隨時開催していきます。コロナ禍で生まれた差別がなくなるよう「シトラスリボンプロジェクト」の応援よろしくお願ひいたします。



第16回高岡市社会福祉大会

10月1日、第16回高岡市社会福祉大会を開催しました。式典では、尾崎社会福祉協議会長から福祉分野で功労があった55名と1団体へ表彰を行いました。

表彰受賞者（敬称略）

▼第16回高岡市社会福祉大会

【高岡市社会福祉協議会会長表彰】

《民生委員児童委員功労者》

浅田 清美	浦田みえ子	海老江和夫	大伴 修	岡田 秀一	小栗 庄市	金田 秋雄
河西美知子	久保千代子	鞍田 悅子	坂本 一穂	佐脇 修司	澤崎 洋美	炭谷 郁子
立浪 照美	谷内 正和	永井 有子	中村 久夫	長森 聰子	西野恵美子	畠山 行治
畠山 幸子	松井眞由美	松原 憲正	宮村 靜雄	八島 彰	矢田 範子	吉川 重治



↑ 民生委員児童委員功労者
谷内 正和 様

《社会福祉施設功労者》

笠谷優美恵	鴨島由喜子	近藤 昭子	島内 章代	萩原 里香
前 由美子	水上貴美代	吉江真美子		

《社会福祉団体、関係団体役職員功労者》

柴田万希子	月安 幸三	山本 誓智
-------	-------	-------

《ボランティア活動功労者》

荒木 茂子	池崎 明美	一宮 郁代	小川 信子
木谷 直樹	窪田 丸美	島 洋子	高橋 陽子
橋本美智子	二上 曜子	淵 真貴子	柳川 武士
横越 煙子			

《ボランティア活動功労団体》

特定非営利活動法人アレッセ高岡

【高岡市社会福祉協議会特別功労表彰】

盤若 進二	藤田 康則	山岸 和夫
-------	-------	-------



↑ 社会福祉団体、関係団体役職員功労者
月安 幸三 様

▼令和3年度富山県社会福祉功労者表彰式

【富山県知事表彰】

《社会福祉施設従事者の部》

尾崎 順子

【富山県知事感謝状】

《永年勤続民生委員児童委員（15年以上）の部》

磯野 厚子 高橋 正志

【富山県社会福祉協議会会長表彰】

《社会福祉事業関係功労者の部》

▼児童福祉施設

大谷 真巳 八十島美由紀 吉江真美子

▼老人福祉施設

谷内 伸江 中川裕弥子 西岡ひとみ
林 美枝子 本田 麻紀

▼障害者福祉施設

井出 好美 鉄山 勇

▼市町村（地区）社協役職員

京谷 芳美 山㟢 美津枝

《ボランティア活動参加者の部》

高橋 陽子

《ボランティア活動参加者（団体）の部》

高岡らっこの会

【富山県共同募金会会長表彰】

《奉仕功労者の部》

村井 修一

【富山県共同募金会会長感謝状】

《篤志寄付者の部》

上杉 清美 神嶋 利夫
瀧内 信治 田中 弘毅

《災害義援金協力者（寄付団体個人）の部》

川端 律子

《災害義援金協力者（寄付団体）の部》

一般財団法人トナミホールディングス松寿会

▼第33回富山県民ボランティア・NPO大会

【ボランティア活動推進富山県民会議会長表彰】

《団体の部》

NPO法人日本車椅子レクダンス協会高岡支部矢車草の会

▼令和3年度全国社会福祉協議会会长表彰伝達式

【全国社会福祉協議会会长表彰】

《民生委員・児童委員功労者》

村谷 正芳



令和3年度ボランティア養成講座

この講座は、今後、地域で活躍するボランティア人材の育成を図るために10月11日から4回コースで開催しました。

10月11日、18日、29日は富山福祉短期大学社会福祉学科講師の中村尚紀氏を講師に迎え、「誰でも楽しく学べるボランティアの基本」「生きがいにもつながるボランティア活動の心得」「知って得するボランティア活動の可能性」について講義をいただきました。ボランティアは地方創生を担うことや、小さな活動が社会を変えることにつながる可能性があるとの話をいただき、ボランティアのすばらしさに改めて気づかされる場となりました。

11月1日はボランティア団体「つるばみの会」「人形劇団どんぐりコロコロ」「リンベル」「いきいき脳トレクラブ」の協力を得て、活動体験を行いました。いきいきと活動されている様子を見て、ボランティア活動への興味が益々高まった様子でした。



講座の様子



ボランティア体験



富山福祉短期大学 中村 尚紀 氏

令和3年度 ボランティアサポーター研修

11月10日、22日の2回コースで、研修会を開催しました。

11月10日は富山県社会福祉協議会地域福祉・ボランティア振興課長の水井勤氏を講師に迎え、サポーターの役割として、「withコロナのボランティア活動を支える」と題し、講義と演習を行いました。演習では「小学5年生にボランティア活動について話す時は、何を伝えたいか」を考え、ボランティア活動の楽しさを伝えるためのコミュニケーション能力について学びました。



11/10演習の様子

11月22日は富山福祉短期大学社会福祉学科講師の中村尚紀氏に「地域活性化のカギはボランティアサポーター！」と題して講義をいただきました。



11/22意見交換の様子

ボランティアサポーター同士の意見交換では、お互いに同じ悩みを抱えていること、地域でのネットワーク作りが重要であることが分かり、今後の活動のヒントを得ることができました。

**いねむりはがき
目ざまし運動に
ご協力ください！**

毎年1月、2月を「いねむりはがき目ざまし運動」強化月間として、書き損じや未使用の完成はがき(年賀はがきや往復はがき等含む)のご寄付を、幅広く市民のみなさまに呼び掛けています。

毎年、小学校、中学校、特別支援学校、高等学校などにもご協力いただいているです。

ご寄付いただいたはがきは、郵便局で切手に交換し、社会福祉協議会のまちづくり事業や国内のボランティア団体等への支援に活用しています。

皆さまのご協力をよろしくお願いします。



岸渡川の桜を守る会

私たち「岸渡川の桜を守る会」は、高岡市福岡町の岸渡川にかかる桜並木（ソメイヨシノ）を未来の世代へ伝えるために、岸渡川沿いの環境保全・保護活動を行うボランティア団体です。寄付されたソメイヨシノが岸渡川沿いに植えられてから70年以上経ったため、木の老朽化が激しく進んでいます。

多くの方々が岸渡川の桜を見に来て頂けるよう、積極的にPR活動（YouTubeチャンネル「岸渡川の桜を守る会」配信中）や宣伝を行い、岸渡川に関心を持っていただくための情報発信を行っています。

今後も、YouTubeチャンネルを通し、高岡市福岡町の活性化のために尽力してまいります。

当会の活動にご賛同いただき、ご寄付していただくことがあれば、岸渡川沿いの桜の保全活動等に活用いたします。

代表 堀部 知之（林照寺住職）記



岸渡川の桜並木



YouTubeチャンネル
「岸渡川の桜を守る会」
の動画

受賞おめでとうございます！

◆「厚生労働大臣表彰」 いづみの会

◆「県功労表彰 団体の部」 ボランティア西条

「おもちゃの図書館」催し物のご案内

ふれあい福祉センター2階
ボランティアセンター内

おもちゃ修理相談 ～おもちゃ病院ぺんぎん～

おもちゃ病院ぺんぎんでは、こわれたおもちゃの診断と簡単な治療をおこないます。くわしくは、下記 QR コードの「サポナビたかおか」「おもちゃ病院ぺんぎん」のページをごらんください。

開催予定日	受付・診療時間
1月15日(土)	
2月19日(土)	13:30 ~ 16:00
3月19日(土)	



サポナビたかおか

・問合先 TEL : 090-1637-1025 代表：前田

人形劇団どんぐりコロコロ

- 毎月第1・3月曜日は人形劇の上演！
- 毎月第2月曜日はリズムにのって遊ぼう！
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、6組までの入場になります。電話でご予約ください。（先着順）

開催予定日	時 間
1月17日	
2月7日・14日・21日	10:30 ~ 11:30
3月7日・14日	

・場 所

高岡市ふれあい福祉センター2階おもちゃの図書館

・問合先・予約受付

高岡市ボランティアセンター

※掲載のイベントは新型コロナウイルスの状況により、中止となる場合がございます。

賛助会費ありがとうございました

本年度も福祉施設、団体、企業の皆さんから87件、1,765,000円（令和3年12月1日現在）の賛助金をいただきました。

ご協力いただきました賛助会の会費は当協議会の福祉事業へ活用させていただきます。誠にありがとうございました。

賛助会員名簿

あしきふれあいの郷、雨晴苑、アルテン赤丸、憩いの家、いなば農業協同組合福岡支店、(株)エムテーランチ、小野医療器(株)、かたかご苑、香野苑、(有)北日本警備保障社、きぼう、暮らしのサポートセンター、ケアホームみどり、校区社会福祉協議会、工房ジョ・イン、こばと会高岡支部、JA高岡女性部、塩谷建設(株)、志貴野苑、しきのケアセンター、志貴野長生寮、志貴野ホーム、新生苑、(株)スリーティー運輸ヘルスケア事業部、だいご苑、高岡愛育園、高岡交通(株)、高岡市医師会、高岡市さな子ども発達支援センター、高岡市更生保健女性会、高岡市歯科医師会、高岡市児童クラブ連合会、高岡市シルバーパートナーセンター、高岡市身体障害者協会、高岡市地域活動クラブ連絡協議会、高岡市手をつなぐ育成会、高岡市農業協同組合佐野支店、高岡市保育土会、高岡市保育所、認定こども園連盟、高岡市保護司会、高岡市母子寡婦福祉会、高岡市ボランティア連絡協議会、高岡市民生委員児童委員協議会、高岡商工会議所、(公財)たかおか女性アカデミー、高岡市連合自治会、高岡市老人クラブ連合会、高岡信用金庫本店、高岡地域精神障害者家族会あしき会、徳竹中製作所、地域活動センターふきのとう、地域女性ネット高岡、手をつなぐ高岡、富山県高岡看護専門学校、むら藤園苑、はるかぜ、(福)伏木会、藤園苑、二上葉苑、鳳鳴苑、(株)ホクタ、北陸労働金庫高岡支店(敬称略、五十音順)

賛助会員とは？

賛助会員は、高岡市社会福祉協議会の趣旨・活動に賛同していただける市民や企業の皆さんに会費を納めていただき、地域福祉事業の実施についてご支援をいただくものです。

ご協力いただける方は、下記までご連絡ください。皆さまのご協力をお待ちしています。

【問合先】 総務課 TEL.23-2917

賛助会費の主な使途

- ◎高齢者・障がい者の生活支援
- ◎校区社会福祉協議会の活動支援
- ◎広報紙の発行

個人 1口 5,000円

法人 1口 10,000円

《無料相談》

福祉相談

実施日時 毎週木曜日 13:00~16:00
相談内容 生活、福祉問題全般について
相談員 民生委員児童委員

成年後見相談

実施日時 毎月第3木曜日 13:30~15:30
相談内容 成年後見制度に関する相談や利用方法などについて
相談員 コスマストやま（行政書士）

※祝日、8月15日及び12月29日から翌年1月4日は休みです。また、上記以外にも、相談員の都合により実施できないことがあります。
【問合先】
高岡市福祉相談センター
(ふれあい福祉センター2階)

TEL 25-7835

#たかおか社協だより66 4月号表紙写真SNS投稿キャンペーン♪

あなたが撮影した写真で表紙を飾りませんか？

たかおか社協だより4月号の表紙写真をSNSで募集します！
高岡市内で撮影された素敵なお写真をお待ちしています♪

応募期間 令和4年1月31日(月)まで

Step 3

撮影

たかおか社協だより4月号の表紙として応募する写真(縦向きを推奨)を高岡市内で撮影してください。

～投稿方法～

Step 1 公開アカウントに設定

投稿するアカウントは公開アカウントに設定してください。

Step 2 アカウントフォロー

高岡市社会福祉協議会のTwitterまたはInstagramのアカウント(右記QRコード)をフォローしてください。

結果は、たかおか社協だよりVol.66への掲載をもって発表とさせていただきます♪

Step 4

ハッシュタグ付けして投稿

ご自身のアカウントで「#たかおか社協だより66」をつけて写真と共にエピソードやどこで撮影されたものか等を書いて投稿してください。

詳しい応募規約
はこちら▶



**Twitter
はじめました**



**Instagram
はじめました**

社会福祉事業の推進には皆様の社協会費を使わせていただいております。ご協力ありがとうございます。

こぶし荘生きがい俱楽部

こぶし荘では毎週火曜日に生きがい俱楽部を開催しています。午前中は脳トレなどの「おらっしゃいきいき教室」に参加して、午後からは舞台鑑賞をします。高岡市内に住む概ね70歳以上の方であれば、誰でも参加できますので、皆さまのご参加を心よりお待ちしています。

*対象者 市内に住む概ね70歳以上の方

*参加費 700円(昼食代込み) *定員 概ね30人

予約先 高岡市福岡町大滝22 福岡健康福祉センター内

問合先 高岡市社会福祉協議会福岡支所

TEL:64-8114 FAX:64-8053

開催日	おらっしゃいきいき教室	舞台鑑賞
1月	福岡いきいき脳トレクラブ(池田由美子氏)	津軽三味線高岡訓若会
	健康運動(三輪厚子氏)	カウルア フラ スタジオ(フラダンス)
	健康運動(三輪厚子氏)	高岡城峰会(民謡、踊り)
2月	福岡いきいき脳トレクラブ(池田由美子氏)	幸謡会(民謡)
	福岡いきいき脳トレクラブ(池田由美子氏)	ひまわり一座(新舞踊、寸劇)
	健康運動(三輪厚子氏)	カトレア会(大正琴)
3月	笑いヨガ(沼田淑美氏)	劇団ゆうしん(歌謡、舞踊)
	福岡いきいき脳トレクラブ(池田由美子氏)	扇流寿々蘭会(新舞踊)
	福岡いきいき脳トレクラブ(池田由美子氏)	能元流 ほほえみ(新舞踊)
15日	健康運動(三輪厚子氏)	人形劇団どんぐりコロコロ
22日	健康運動(三輪厚子氏)	ザ・あんぽんたん(各種演芸)

※午後の催し物が変更になる場合もありますのでご了承ください。

福祉への善意あなたから

令和3年9月2日～
令和3年12月1日

市社協では善意のご寄付をお待ちしています。お寄せいただいた浄財は、ボランティア活動の推進や、各種社会福祉事業などに活用させていただきます。皆さまの温かいご支援をお願いいたします。

＜寄付物品＞(各項目50音順)

◆使用済み切手

川端律子 様	80g
JA高岡女性部 様	6,340g
東五位明社会 様	220g
松野美知子 様	270g
立正佼成会高岡協会 様	115g
匿名6名	19,858g

◆未使用切手

東五位明社会 様	1,410円
----------	--------

◆書き損じはがき・未使用はがき

東五位明社会 様	9枚
----------	----

◆ベルマーク

川端律子 様	
--------	--

◆食料品

東洋羽毛北信越販売(株) 様	
北陸電力(株)高岡支店 様	
匿名	

◆シトラスリボン

匿名	
----	--

◆コロナ対策グッズ

明治安田生命高岡南営業所 様	
博労校下連合自治会 様	

◆未使用タオル

川端律子 様	21枚
明治安田生命高岡南営業所 様	
匿名 37本	

«社会福祉協議会事業運営»

匿名	200,000円
----	----------

ご協力ありがとうございました。

2022
vol.65

たかおか
社協だより



〒933-0866 富山県高岡市清水町1丁目7番30号
Tel 0766 (23) 29174 / Fax (26) 2379
<http://www.takaoka-shakyo.or.jp>
info@takaoka-shakyo.or.jp
印刷／キクラ印刷株式会社



次回発行
4月1日